



## 5月の園だより

学校法人 志賀学園

松の実こども園

令和2年5月7日

野山の草木も芽吹き、新緑の美しい季節となりました。

新年度が始まり、まだ新しい環境に泣いていたお子さんもいましたが、早くこども園生活が楽しくなるよう遊びの環境を整え、一人ひとり丁寧に寄り添ってまいりました。さくら・すみれ組さんは、日課のラジオ体操やかけっこが始まり、体力作りをしていた矢先、新型コロナウイルスの影響で臨時休園となり、ご負担をおかけしております。今後とも、国や県、いわき市の要請に従って対応して参りますので、宜しくご理解とご協力お願い申し上げます。

このような状況を顧みますと、私は9年前の東日本大震災を思い出されます。ちょうど修了・卒園式を控えた時期、水道・電気が止まり、食品やガソリンの流通も途絶え、目に見えない放射線におびえ、皆遠方へと避難していきました。4月に学校が再開されることを機に、各避難先に連絡を取り、始業・入園式を行いました。その後、「また、お会いしましょうね。」と、約半数の方々が各方面へ避難されていきました。それからは、子どもたちが安心して園生活が送れるよう、当時の故志賀文岳理事長先生のもと、園庭の表土除去、園内外の清掃、遊具の除染など出来る限りのことを行ない、一人、また一人と戻ってきて、夏休み明けの9月にはほとんどのお子さんが登園してくるようになりました。それからの2～3年は、外遊びは勿論のこと土や草花にも触れられず、定期的な清掃、放射線量の測定、放射線理解の講演会開催、水や給食の食材を考慮したりしながら対応して参りました。

日常の保育では、「ホールに公園があつたらいいのにね！」という子どもたちの言葉から、ホールに鉄棒やマット・跳び箱などを設置し、丘やお花畑・池などの装飾をして、公園に見立て有意義に遊びました。また参観日には、親子で工夫しておもちゃ（新聞紙でバットやボール等）を作り、一緒に遊んで充実したひと時も過ごしました。次第に、保護者の方々から安心安全な幼稚園でプールに入れて欲しい、園庭で運動会を開催して欲しい等のご要望があり、少しずつ震災前の生活に戻し今日に至っております。

「明けない夜はありません」。今はじっと我慢の日々。体調管理と親子のふれあいを大切に、それぞれのご家庭で工夫してこの困難を乗り越えて頂きたいと思います。

こども園が再開した日には、子どもたちにとりましては、『楽しいこども園』となりますよう準備を整え、職員一同誠心誠意でお預かりして参ります。コロナ対策として、ご家庭におかれましては、「早寝・早起き・朝ごはん」「適度な運動」「不要不急の外出を避ける」をお願いします。こども園では、3密を避け、こまめなうがい・手洗い・咳エチケット、消毒・換気を心掛け、美味しく栄養バランスの取れた給食を提供して参ります。